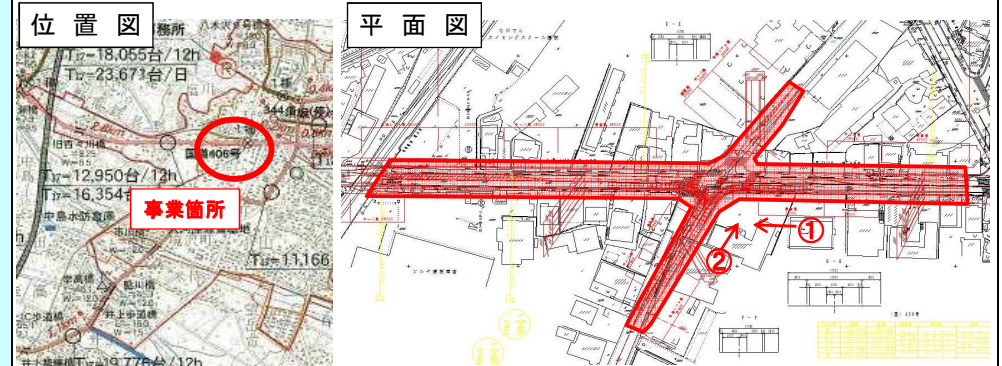


(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	交通安全施設等整備事業		路河川名等	(国)406号		
事業毎の通番	18	市町村名	須坂市	箇所名(ふりがな)	南横町(みなみよこまち)	
事業目的	国道406号は、大町市を起点とし、長野市や須坂市を経由し、群馬県高崎市に至る主要な幹線道路であり、地域の生活や産業、観光を支える重要な路線であるが、長野市境～須坂市街地では朝晩の通勤時を中心に混雑が見られ、移動性阻害箇所(イライラ箇所)に指定されている。また、森上小学、須坂園芸高校が近隣にあるが、歩道が狭く、歩行者の通行に支障をきたしている状況にある。 当該箇所の整備により、混雑の緩和、歩行者の安全確保を図るため、早期に整備する必要がある。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり	事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律			
関連する事業、計画等	道路の見える化計画 須坂都市計画区域マスタープラン					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	森上小学 通学生 他 現況交通量 15,922台/日、現況自転車・歩行者量 493 台・日/12h					
着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	—	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	交差点改良工 全体延長 L=200m W=6.5(17.0)m			480,000	288,000 172,800 19,200	
年度事業内容(主な工種)	詳細設計1式			0	0 0 0	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される渋滞の緩和 渋滞の緩和				
	間接的効果(定量的・定性的)	通行車両の交通事故抑制 緊急輸送路の整備				
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量：現況交通量15,922台/日 ○現況自転車歩行者交通量：現況交通量 493 台・人/12h			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合： 2つ以上整合(道路の見える化計画イライラ箇所(横町中央交差点)、須坂都市計画区域マスタープラン) ○緊急輸送道路の路線指定：緊急輸送路(2次)に指定			評価	A
	効率性	○事業期間：4年(H27～H30)			評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：人or自転車×自動車事故発生 6件、H23 4件、H24 2件 ○通学路対策：緊急合同点検を踏まえた対策箇所(須坂市立森上小学) ○現況の歩道幅員：2.0m未満(W=1.2m)			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：3回の意見交換会・説明会を実施済(H22.8、H23.9、H24.9)(H25には地権者に個別に説明) ○地域の取り組み：3回の意見交換会・説明会を実施済 沿線地権者からは、早期の事業化を要望 ○地域の合意形成：整備手法について、地権者と個別に調整のうえ決定し、概ね合意形成が図られている ○住民との協働：維持管理や環境美化に地域住民が直接参加している(道路愛護会、塩川長生会、むつみ会)			評価	B
	部意見	交通量も多く、渋滞による事故も多く発生している交差点であり、安全な交通空間の確保のため、早期の改良が必要である。	行政改革課意見	朝晩の通勤時間帯に混雑が発生し、イライラ箇所指定されている。近年、事故が多発していることから、必要性、重要性が高い。	評価結果	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)406号は、長野市から菅平を結ぶ主要幹線道路であり、本事業区間は須坂市の中心市街地である須坂駅南交差点前後である。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、朝晩の通勤時を中心に混雑状況が見られ、イライラ箇所にも指定されている。当該箇所は、須坂市街地の玄関口になっており、車両交通が多く、錯綜している。森上小学、須坂園芸高校が近隣にあるが、歩道が狭く、歩行者が危険にさらされている状態となっている。	
③事業説明等の経緯	本事業区間は、平成22年度から沿線住民への事業説明を実施しており、地権者からも事業化の要望が挙げられている。このため本事業区間も早期の事業化が求められている。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	須坂市で行われている幹線道路網の見直しの検討にあたり、既存のバイパス(都市計画道路高甫線)計画の廃止など、将来交通需要を踏まえ、幹線道路として当路線の重要性が高まっている。	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地元関係者からも参加しルート比較検討を実施し、地域住民の意向に沿った工法を検討している。	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近の商業施設等の活性化も期待される。	
⑦その他	コストの縮減が期待できる案を採用している。	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 39' 16" 東経:E 138° 18' 14"